

**AI が類似画像を自動で抽出
ファイル管理・共有サービス「IMAGE WORKS」に「類似画像検索機能」を新搭載
ビジネスにおける画像コンテンツの活用の最大化に貢献**

2019年12月12日

富士フイルムイメージングシステムズ株式会社

富士フイルムイメージングシステムズ株式会社(代表取締役:西村 亨)は、クラウド型ファイル管理・共有サービス「IMAGE WORKS」^{※1}に、文字情報を使わずにAIが画像から類似画像を自動検索できる「類似画像検索機能」を新たに搭載いたします。本機能により、「IMAGE WORKS」に保管した画像の検索性が大幅に向上し、ビジネスにおける画像コンテンツの活用シーンが大幅に広がります。

「IMAGE WORKS」は、メタ情報や商品情報などをタグ情報としてデータベース化して画像に紐づけて管理できるため、通常のオンラインストレージサービスやファイルサーバでは探し出せなかった画像も、タグ情報を使って必要な画像を見つけやすく、検索性に優れたサービスとして大変ご好評いただいています。しかし、画像コンテンツをビジネスシーンで利用する頻度は大幅に増加、さらに過去の写真プリントや、紙の販促物などを電子化して保存しておきたいというニーズも高く、ユーザーが管理する画像の量は飛躍的に増えています。そのため、個々の画像にタグ情報を付与する作業に膨大な時間がかかり、画像データの多くは何が写っているか整理されないまま、保管されるだけにとどまるケースも多く、もっと画像を簡単に検索・活用したいと考えるユーザーが増えています。

今回新たに搭載した「類似画像検索機能」は、手元にある画像や「IMAGE WORKS」に登録された画像を使って「IMAGE WORKS」内に保管されている類似した別の画像をAIで自動的に分析し・抽出することを可能にします。この機能では、AIが自動で画像に写っているシーンや人物などを認識し、文字情報ではなく画像情報に基づいて類似画像を抽出するため、これまで手作業で実施していた画像の整理やタグ付けを行わなくても、類似画像の検索が可能となります。

膨大な画像の中から人物が写っている画像だけを探したいときや、同じ製品の別カットや色違いの画像をみつめたいとき、重複する画像を整理したいときなど、さまざまなシーンでご活用いただけます。「類似画像検索機能」と合わせて、ユーザーが個別にタグ情報などの検索条件を追加することで、よりイメージに近いものを絞り込むこともできます。さらに、各ユーザーの管理・検索ニーズに応じて「類似画像検索機能」をカスタマイズし、各ユーザーが求める画像検索の精度をさらに向上させることも可能です。

富士フイルムイメージングシステムズ株式会社は、ビジネスシーンにおける画像・動画コンテンツの管理・共有業務の効率化を支援し、お客様のさらなるビジネス発展に貢献するため、サービスの向上に努めます。

※1: IMAGE WORKS について

「IMAGE WORKS」とは企業の資産となる画像や動画等の大容量データを、管理者による正しい統制管理のもと、より安全・効率的に共有・管理・アーカイブできる法人向けクラウド型ファイル管理・共有サービスです。2006年よりサービスを提供しており、国内の各業界におけるリーディングカンパニーを中心に、企業の広報業務や販促活動の支援、データ送受信におけるセキュリティ強化を支援しています。

記

【「類似画像検索機能」を利用したイメージ図】



利用フローイメージ



想定利用シーン1：営業活動において提案したい画像を簡単に検索可能

同じ製品の異なるイメージカットや色違いの製品をすぐに検索して提示可能。ユーザーとその顧客の製品に対するイメージのすり合わせなどに活用でき、営業活動における顧客との円滑なコミュニケーションに貢献します。

想定利用シーン2：アーカイブ資産である画像を、スムーズに利用可能

アーカイブされた大量の画像から、最新の製品画像で旧モデルの製品画像を探したり、人物の写った画像から同じ人物の過去画像を探すなど、過去の画像データから誰でも容易に探したい画像を見つけることができます。

想定利用シーン3：言葉の壁を越えてグローバルで活用可能

グローバルな企業活動において、タグ情報を日本語で付与している場合に、日本語で検索ができない海外の関係部門などでも、画像で類似画像検索ができるため、素早く画像を検索し、ビジネスに活用することができます。